

# 湧水庭園「四明荘」



## ■ しめいそう四明荘とは

四明荘は、豊かな湧水を利用して造られた独特の風致景観から成る近代の住宅庭園であり、水屋敷として市民に親しまれてきた庭園の一つで、四方の眺望に優れることから、主屋は「四明荘」の異称を持ちます。

主屋は、明治後期に建築され、庭園は禅僧を招いて作庭したものとされています。屋敷は、正面と左側面の二方に池に張り出す形で縁を廻しており、一段高い座敷から庭園を見下ろすような形は、座敷と庭園が一体となった景観を形成しています。また、居室棟裏手に位置する四角形の池には、四つの中島があり、表の池水庭園とは趣が異なります。池底はいずれも砂敷き、水は透明で護岸はごく低い石積で造られ、池の中には、沢飛石が配置されています。

また、平成20年7月28日に、国の登録記念物に、平成26年4月25日に、国の登録有形文化財（建造物）に登録されました。

## ■ 四明荘の概要

- 所在地 島原市新町二丁目
- 敷地 787.67㎡（約239坪）
- 主屋 木造日本瓦葺2階建 延べ床面積：129.32㎡（約39坪）
- 開館時間 9：00～18：00
- 観閲料 無料